

甲佐町長就任あいさつ



奥名 克美 甲佐町長

このたびの町長選挙におきましては、町民の皆様からの多くのご支援により2期目の当選を果たすことができました。心から感謝を申し上げます。

1期4年間は、「甲佐町再生」をキーワードに50項目のマニフェストを掲げて、後ろを振り返ることなく町職員とともに知恵を絞り汗を流して、目標達成のために努力してまいりました。おかげをもちまして、マニフェストの約80割を達成でき、この結果はひとえに、議会の皆様や町民の皆様のご理解とご協力によるものと考えております。

中でも行財政改革においては、養護老人ホーム「緑川荘」や緑川保育所の民営化に取り組んでまいりました。

た。これには賛否両論ありましたが、「施設をなくすのではなく維持した上で、民間で運営できるものは民間に委託し、それによって得られた経費削減効果を新しい政策に反映させる」という考えに基づいて実施し、その削減効果につきましては、主に子育て支援策に活用させていただきました。そうした徹底した改革により、約14億円の財政効果が表れ、財政調整基金も4年間で5億円を積み増し、平成22年度末時点で、13億7,000万円の基金を積み立てることができました。

また、町民の皆様様の活力につながった項目として、「人口増の実現と若い世代の定着」があります。昨年度においては、かつてない39人の

人口増となりました。これは、歴代町長が進めてこられた定住促進施策と、私が取り組んだ子育て支援などに関する数々の施策との相乗効果が功を奏したものと考えています。

さらには、町民の皆様からの要望が高かった光ブロードバンドの整備については、昨年12月に本町全域を対象としてサービスがスタートしました。今後、町の大きな情報発信手段として、「防災」、「教育」、「福祉」などさまざまな分野で活用を図っていきたいと思います。

ところで今後の本町の展望を語るにあたり、昨年度、町民の皆様からいただいた数々のご意見を集約して「甲佐町第6次総合計画」を策定いたしました。その中では、次の4点が柱となっています。

- ① 活力に溢れる町づくり
- ② 安心・安全な町づくり
- ③ 健康と人を育む町づくり
- ④ 協働で支える町づくり

2期目の町政を預かるにあたり、以上の4つの町づくり方針を基本として、各種施策を展開してまいります。中でも、定住をさらに促進するために子育て支援を継続するほか、特に今後の大きな政策のテーマとして、東日本大震災に学び、「災害に強い町づくり」を進める必要があります。それに先立ち締結した、大規

模災害時での国土交通省や株式会社コメリとの支援協定をはじめとし、「乙女地区の災害時を想定した生活水の確保」や「自主防災組織の拡充」のほか、自然エネルギーの見直しによる「太陽光発電設置の普及」などにも取り組んでまいります。また、緑川をもっときれいな川に戻すために、「小型合併浄化槽」の普及推進と併せて河川空間を生かした施設整備も検討してまいります。

それらを含め、「甲佐町第6次総合計画」では32項目のマニフェストを掲げたところですが、これらの各種政策を実現することにより、町民の皆様が誇りを持って「甲佐に生まれて良かった」。この町で暮らせてよかった、そう語り合える甲佐町へと、さらに再生を図ってまいります。

自治体を取り巻く地域間競争が激化する中で、再度4年間、町政を担うこととなりますが、これからも初心忘れることなく、また気を引き締めて町民の皆様から寄せられた期待に応えるべく、強い信念と情熱を持って、「甲佐町再生・セカンドステージ」を展開させていただきます。

最後になりましたが、町民の皆様、また議会の皆様には、今後ともご指導とご支援のほどよろしくお願いを申し上げます。就任のあいさつに代えさせていただきます。

甲佐町ルネッサンス(再生)第2章

元気で明るい町・甲佐町のさらなる飛躍を！

1 活気に溢れる町づくり

- 県道整備の促進と「町道整備5ヶ年計画」に基づく町道の計画的整備促進
- 住宅開発業者支援、町有地の有効活用を検討
- 企業誘致活動の推進の継続
- 農業生産基盤の整備と耕作放棄地解消に向けた各種団体との相互協力
- 各種産業後継者などの育成支援の充実と地場産業の振興
- 商店街活性化に向けた支援と特産品開発
- 清流「緑川」の再生および緑川を活用したスポーツフェスティバルや広域交流型観光施設整備の検討
- 観光資源の発掘と広域連携観光ルート開発



2 安心・安全な町づくり

- 町内の溢水対策（内水調査結果を受けての「町防災計画」にのっとった本格的な検討）
- 個人住宅の耐震補強工事に対する町からの支援
- 町消防団組織の再編と自主防災組織の拡充
- 防災行政無線および光ブロードバンドなどを活用した危機管理体制の強化
- 災害時を想定した乙女地区の水道水源の確保
- 自然エネルギーの見直しによる個人住宅の太陽光発電設置に対する助成金の支給
- 小型合併浄化槽の普及推進（10年後の目標普及率70%）
- 町営住宅の計画的整備



3 健康と人を育む町づくり

- 定住促進および子育て支援（子ども医療費助成、保育料軽減など）の事業継続
- 世代間の交流を通じた子育てサロンの開設
- 検診受診率向上に向けた各種条件整備と子宮頸（けい）がんワクチン接種の補助
- 高齢者などの見守りネットワーク体制の充実
- 敬老会助成事業の毎年度実施と新たなお祝い制度の創出
- 中学校施設整備と各小学校の空調施設整備
- 郷土愛を育てる充実した道徳教育、自然体験、子ども議会、体験道場を実施
- 甲佐高の特色ある学校づくりへの支援



4 協働で支える町づくり

- 部落行政交付金の交付要綱見直し（地域活動の財源として一括交付金化）
- 町職員の資質向上
- 一部事務組合の更なる広域化（ごみ・し尿・火葬場・消防）
- 町職員地区別担当者制度の実施
- 各種委員会などの費用弁償額の適正化
- 光ブロードバンド公共アプリケーションの展開の推進（①防災、②医療・保険・福祉、③教育、④議会中継・議事録検索システム）
- 情報公開のさらなる拡大、予算・決算の状況や財務諸表の公開
- 地域の活性化への新たな制度の検討

